

# 京都市子ども安全ネットワークニュース

Vol. 15 平成 20 年 8 月発行：京都市子ども安全会議事務局

教育委員会体育健康教育室 TEL213-5472 [http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-4-0-0-0\\_2.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-4-0-0-0_2.html)

## 「入りやすくて見えにくい」場所に注意！

～犯人目線で危険予測～

### 京都市学校安全ボランティア講習会開催！

【京都市教育委員会と京都市子ども安全会議との共催】



6月30日、「平成20年度第1回京都市学校安全ボランティア講習会」が京都市総合教育センターで開催され、学校安全ボランティアの方々等約350名が全市から参集されました。

講演では、「地域安全マップ」の考案者である立正大学・小宮信夫教授が、様々な事件発生現場に自ら赴かれ検証を重ねられた見識に基づき、「犯罪が発生する場所は『入りやすくて見えにくい』」をキーワードに熱弁をふるわれました。参加者は、「なるほど なるほど」と引き込まれるように傾聴されていました。

また、講演終了後も、小宮教授は訪れた参加者一人一人にさらに詳しく解説されていました。

- ◆不審者を見極めることは困難。危険を回避するためには、「人」から「場所」へ発想を転換することが大切。
- ◆安全マップは、過去に犯罪が発生した場所を記載するものではなく、危険が予測される箇所を示すことが必要。
- ◆安全マップは、大人が作って配るのではなく、子ども自身に作らせることが重要。安全マップ作成には、好奇心旺盛で、地図をある程度理解できる小学校中学年が最適。



小宮 信夫 先生



受講者からは、以下に代表されるお声をいただきました。

- ◎「危険予測のノウハウは、人ではなく場所である。」感心した。
- ◎目からうろこ。ぜひ、学区の安全マップを修正したい。
- ◎安全マップを子どもたちと一緒に作成し、子ども自身に危険回避能力を習得させたい。

学校・家庭・地域・関係機関の連携の下、地域ぐるみの学校安全の取組は、学校安全ボランティアの方々によって支えられています。この講習会は、今年度あと2回開催する予定です。

7月中旬に、伏見区で「子どもに危害を加える」旨の不審メモが発見されました。その際、各地域において見守り隊やPTAの皆様方には、子どもたちの安全確保に向け、大変御尽力いただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

子どもを共に育む  
京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、  
行動の輪を広げましょう！

## 福西小学校区 (西京区)

□笑顔で声かけ「おはよう」「おかえり」、みんなで守ろう子どもの安全・地域の安全

◇福西安全見守り隊

福西小学校区では、平成18年8月10日に「福西安全見守り隊」が結成されました。子どもたちの安全を守ることに重点を置き、安全・安心で住みよい福西地域にするとともに、互いに声をかけ合い助け合える住民相互の結びつきを強めることを目的としています。



◇活動内容

\* 安全パトロール

「いつも大人の眼が光っている街」にするための取組を続けています。安全ボランティアによる取組を持続させていくために、各自の意思と判断によって、各自ができることを都合のよい時間に行うことを共通理解して活動を進めています。

\* 登下校の見守り

\* 笑顔で「おはよう」「おかえり」のあいさつ

\* 放課後や休日における子どもたちへの声かけ



□福西安全見守り隊にとって一番の励みは、「子どもたちの笑顔と元気なあいさつ」です。

## 月輪小学校区 (東山区)

(1) 月輪子ども安全対策協議会の取組

月輪子ども安全対策協議会は、「子どもの安心・安全のネットワーク」を作りたいとの学校の呼びかけに各種団体が応じ、平成17年に発足しました。まず、校区の全世帯に子どもの安全を守るためにできることを尋ねるアンケート調査を行いました。調査項目は、

① 門はき、花の水やり、犬の散歩、ジョギング、買い物などを、子どもたちの登下校の時間帯に合わせる。

② 自転車のかごに、パトロール中のプレートをつける。

③ その他、できることがあれば教えてください。 というものでした。

アンケートの結果、地域の多くの方々の協力をもとに無理なくできることから、子どもの見守り活動を開始することができました。

(2) 地域のその他の取組

\* 「東山いきいきネットワーク」では、「子ども110番の家」を増やす活動に取り組み、現在122軒まで登録が増えています。また、登録することによって子どもの安全への関心が高まり、子どもの見守り活動へと発展するケースも見られるようになっていきました。



\* 「月輪子ども110番」のロゴを入れたキャップとベストを作成し、登下校時の巡回や立ち番などの見守り活動の際に着用いただいています。

\* PTAの「声かけ運動」には、毎回30名ほどの参加があり、校門だけでなく、通学路の危険箇所など10カ所に分かれて声かけを行っています。

\* 見守り隊の方に、年2回ほど児童朝会で安全の話をしていただいています。子どもたちが、自分達の安全は多くの人達によって守られていると感じる機会となっています。